

尾鷲ひのき

10月1日放送

第22回目の放送は「尾鷲ひのき」とその加工品についてご紹介します。

尾鷲ひのきは、急峻な地形とやせた土壌という木が生育するには非常に厳しい条件の中で、長い年月をかけてゆっくりと育てられています。

年輪が緻密で、油分が多く光沢があり、耐朽性にも優れているとして高い評価を得ている尾鷲ひのきは、昔から家の土台や柱などに多く使われてきました。

今回は、この尾鷲ひのきを使って木工製品を作られている山本木工所の山本昌さんと、えびすやの大形弥生さんにお話を伺いました。

まずは山本昌さんのお話から。



山本さんが木工所を開業したのは昭和33年。

現在は、まな板やお風呂のいす、すのこなどを作られています。

昔は都会のデパートなどで行われている物産展などにもよく出展されていたそうです。

市民の方に親んでもらえるような、身近な商品を作りたいんですって。



尾鷲ひのきを使ったまな板には抗菌作用があり、古くなってもカンナで削れば新品と変わりません。

山本さんの作った商品をずっと愛用されているお客様もたくさんいらっしゃいます。

木工所の工房は、まちかど博物館でもありますので、連絡を入れれば山本さんが作業しているところを見ることができますよ！



続いては、えびすやの大形弥生さん。



おばあちゃんが営業されていた駄菓子屋さんを改装して、今は尾鷲ひのきの手作り商品を販売しています。

工房では、大形さんの優しさあふれた作品が作りあげられています。

こだわりは曲線、そして香り。

料理へらやスプーン、しゃもじなど、他にも人気の商品がたくさん。

リピーターの方も多いそうです。



使ってくれる人たちに優しく、あたたかく、心地よさを届けてくれています。

ビスケットペンダントもとっても可愛いです！
2枚の木を組み合わせるで作るので、ほぼ世界に1つしかない作品が出来上がります。
素敵ですね～。



あとは、尾鷲ひのきといえば、あのいい香り。
商品を手にとったお客様から「いい香りだね」と言ってもらえることが、大形さんはとても嬉しいんだそうです。

山本さんと大形さん、それぞれ尾鷲ひのきを使った素晴らしい作品を作られています。
ぜひ、この香りと作品を手にとって楽しんでくださいね。

山本木工所：<http://owasekankou.com/buy/theme/hinoki/000055.html>

えびすや：<http://www.ztv.ne.jp/web/yayoiebisuya/>